

主題「トラブルに合わないために」

副題 ～情報モラルを身につけさせる指導の徹底～

さいたま市立美園中学校

1 ねらい

近年、社会の高度化・複雑化により、子どもたちを取り巻く環境が変わってきている。携帯電話・インターネットの普及により、簡単に情報を得ることが可能になってきた。情報技術の進歩は便利な半面、犯罪、トラブルに巻き込まれるといった危険性もある。これは無意識の内に被害者にも加害者にもなってしまうということである。携帯電話・インターネットの有用性、有害性を認識させ、情報モラルを身につけさせる指導が情報教育の重要課題だと考える。本校では技術・家庭科の授業を中心に、総合的な学習の時間、携帯・インターネット安全教室を通して情報モラルの育成を図る実践を行っている。

2 指導計画

○技術科

・ルール・マナーを理解して、情報ネットワークを生活や学習に生かすことができる

- ① 情報ネットワークに関する法律の学習
- ② インターネットの利便性と危険性の学習
- ③ 著作権・肖像権の保護の学習

○総合的な学習の時間

・実際にインターネットを活用する中で情報モラルの向上を図る。

- ① 検索エンジンの活用

3 授業実践例

(1) 第1学年 道徳

- ① 題材名 ケータイに潜む危険
- ② 指導内容

情報ネットワークの危険性の理解（メール、サイト、掲示板 等）

(2) 総合的な学習の時間

指導内容

検索エンジンを利用して、目的のサイトを探し出す中で、情報の取り扱い、個人情報の保護、著作権の重要性を理解する

(3) 全校 携帯・インターネット安全教室（平成23年4月21日実施）

- ① 題材名 「ケータイと正しく付き合うために」
- ② 実施概要

携帯電話の安心で安全な使用方法、使う上でのマナーやルールを具体的な事例をパワーポイントを使って説明する。

③ 指導内容

- ・携帯電話の利便性について
- ・メール・サイト・インターネットにおけるトラブルについて
- ・トラブルから身を守る機能
- ・ケータイのルール・マナー

4 成果と今後の課題

全校一斉のケータイ安全教室では、安心で安全なルールやマナーを具体的な事例とともに学ぶことができた。また、日々の授業を通して、情報モラルについて学ぶことができた。

社会の変化に対応した指導を心掛け、さまざまな社会問題に対応できる能力の育成に取り組んでいく。